

目標1 「新現役世代」が活躍する

戦略目標のねらい：【新現役世代が地域社会でやりがいを持つ】 【新現役世代がまちの原動力になり、生涯活躍する】 【新現役世代が元気になる、そして、まちも元気になる】

凡例： **新たに検討した基本的方向（案）**

	基本的方向（案）		
	新現役世代が活躍できる場と仕組みづくり	世代間・地域間で互いに支え合う持続可能なコミュニティの形成	安心して暮らし続けられるための環境の整備
第3期総合戦略 施策項目と具体的な 施策・事業	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「新現役世代」の活動と交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> 各種講座（いしかり市民カレッジ、まちづくり出前講座等）の開催支援 高齢者を対象とした学習と交流の場（はまなす学園等）の実施 高齢者ふれあいサロン事業展開のサポート 高齢者クラブによる健康や自己啓発、介護予防、社会貢献等の活動をサポート コミュニティビジネスの起業支援 地域学校協働本部事業（あい風寺子屋教室）の推進 (4) 健康寿命の延伸に向けたサポートの充実 <ul style="list-style-type: none"> ウォーキング環境の整備（ウォーキングロードや休憩施設、冬期間対策等） ウォーキングイベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> (3) 多世代交流による地域の活性化 <ul style="list-style-type: none"> カローリング大会の実施 カローリングの普及推進 (4) 健康寿命の延伸に向けたサポートの充実 <ul style="list-style-type: none"> 市内スポーツ関係機関と連携したスポーツの振興 食育推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> (2) 地域課題を解決する地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者や家族を地域でサポートするための取組 地域包括ケアシステムの推進 高齢者が集まる通いの場に対する支援 (4) 健康寿命の延伸に向けたサポートの充実 <ul style="list-style-type: none"> 各種検診やワクチン接種等への助成 保健介護一体化事業の推進
第5期市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢になっても楽しめる場所が少ない ●平日の様々なイベントに現役世代は参加することが難しい ●高齢になっても生きがいが持ち続け、生涯安心して暮らせる仕組みを作ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●隣人や地域の人とのつながりがある ●近所付き合いや町内会イベントがあり、地域の人が温かく子どもを見守ってくれる環境がある ●多世代が集い楽しめる拠点を創出してほしい ●外国人居住者との交流機会をつくってほしい ●町内活動を持続するためのまちづくりを考えたい 	<ul style="list-style-type: none"> ●住環境が良く、住み慣れている ●除雪がしっかりできている ●冬の生活、雪かきが大変 ●年齢を重ねると雪かきが大変・除排雪へ不安がある ●戸建ての維持が大変 ●老後の生活への不安がある ●高齢者に対する施設やサービスについて不安 ●医療機関が充実していない ●居住費用が高い ●水道代が高い ●雪が多く、除排雪が大変 ●水道料金が高い ●空き家対策がされていない ●衛生面や住環境の悪化に不快感を抱いている ●ゴミ袋料金設定やゴミ出しルールに不満がある ●障害者や高齢者への福祉サービスが他市と比較して気がかり ●老後の暮らしに不安がある ●除雪などのインフラがしっかりしている ●水道料金やバス料金が高い ●除雪や生活インフラなどの行政サービスが行き届いている ●静かな住環境 ●冬の雪や除雪のあり方に不満がある ●中心地から離れた地域は買い物や除排雪が不足している ●冬の生活に直結する除排雪体制を改善してほしい ●夏場の除草をしてほしい ●単身者の市営住宅を増やしてほしい ●水道料金を安くしてほしい ●特に小児科・皮膚科の医療機関を充実してほしい
地産地活博	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもからお年寄りまで年齢を問わず、元気に活動して活躍したい ●年をとっても参加できるイベントがあると良い ●老若男女、みんながスポーツを楽しめると良い ●「元気いっぱい」が好き 	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで仲良く過ごせる ●友達が増えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●快適で安全なまちであれば、長く暮らせる ●どんな人も暮らしやすいまちになってほしい ●生活コストが下がってほしい
はたちのつどい	<ul style="list-style-type: none"> ●年配の方がいきいき元気に生活できることは良い 		
第6期市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢になっても外に出て、活躍したい ●少子高齢化が進む中、高齢者を人財として捉え、社会を支えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民のスキルや挑戦を支援し、自立と共助によって成り立つ柔軟な地域社会を築いてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療・介護体制の充実や買い物難民への支援を行い、生活圏をコンパクトに保って暮らしやすくしてほしい
市内小中学校への意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ●いくつになっても元気で、生き生きと過ごしたい ●年齢に関係なく働いたり、さまざまなことで活躍できる場があると良い ●子どもからお年寄りまで、年齢に関係なくみんなが元気に活躍してほしい ●スポーツや色々な地域活動に挑戦して、元気に過ごしてほしい ●元気があれば何でもできた ●仕事を長く続けられたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ●お年寄りから子どもまで、一緒に遊べる公園がほしい ●みんなで助け合い、仲良く交流して平和に暮らしたい ●子どもから大人、お年寄りまでみんなが楽しめる場所がほしい ●人が優しく、みんなが元気いっぱい、明るく過ごせるまちにしたい ●挨拶があり、みんなが優しく笑顔で仲良く暮らせるまちにしたい ●地域の人たちのつながりや交流、ボランティア活動などを増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●ずっと平和で健やかに暮らしたい ●みんなが健康で元気に過ごせるのが一番大切 ●元気に活躍できるということは、安心安全に暮らせている証拠になる ●安心や平和がないと好きになれないし、チャレンジできない ●みんなが健康で元気に過ごせるまちがいいから ●水道料金や食べ物の物価を安くしてほしい ●いじめをなくして、安心して生活できるまちにしてほしい ●誰もが安心して、平和で元気に暮らしやすいまちになってほしい ●物価や商品の値段を安くしてほしい
石狩ミライゆる会議	<ul style="list-style-type: none"> ●関わる人それぞれの役割をつくる ●年齢関係なく役割をつくっていくことがコツ 	<ul style="list-style-type: none"> ●過疎地域が置いてきばりにならず、個性が輝けるまち・話し合いで石狩を作れたらいいな ●横のつながり、「ちょっとこれやってみよう!」、助け合いなど ●あったかい「憩いの場」がある、気軽に人が集まっている石狩! ●starting weekendを石狩で開催して、横のつながりを増やしたい! ●デジタルツールを人間が作ることで、あたたかい関係が作られる。一度対面で会うことも大事 ●あえて不便であることで成り立つコミュニティもある ●人づてで関係を広げたり、人を巻き込んでいくために、利用者が自分たちでカスタマイズできる場所になっている。利用者のアイデアをイベント化して、自分も関わる 	
庁内研修WS	<ul style="list-style-type: none"> ●職員減少により新現役世代にアウトソーシングすることが増える ●時間をもて余す人が減る 	<ul style="list-style-type: none"> ●平均寿命が延び、元気に過ごす人が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ●人手不足により、家族の負担が増える ●人手不足により、要支援者に対するサポートが行き届かない ●さらに高齢者施設が増える ●医療費は右肩上がり、特にメタボリックリンドロームの人が増えている

目標2 「子育て力」をさらに発揮する

戦略目標のねらい：【地域全体で子育て家庭や子どもの育ちを支える、見守る】 【男性も女性も安心して仕事と子育てを両立できる環境をつくる】 【支えあうことにより、幸せになる地域をつくる】 凡例： **新たに検討した基本的方向（案）**

	基本的方向（案）			
	社会全体で子育てを支える、切れ目のない支援体制と環境の充実	子どもの創造性や主体性を育む、多様な居場所と体験機会の創出	地域特性を活かし、豊かな学びを支える教育環境の充実	
第3期総合戦略 施策項目と具体的な 施策・事業	<ul style="list-style-type: none"> (1) 若い世代の出会いを通じた地域活力の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・結婚新生活支援事業 ・婚活事業の検討 ・結婚、妊娠、出産、子育てに温かい社会づくり、気運醸成事業の検討 (3) 子育て環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・石狩湾新港地域事業者のための保育機能を有する利便施設の検討 ・さっぽろ連携中枢都市圏における公共施設及びインフラ資産に係る共同利用の可能性調査・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩市産後ケア事業(宿泊型・日帰り型・訪問型) ・石狩市妊産婦健康診査通院交通費等助成交付 (4) 妊娠・出産の希望をかなえる支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・不妊症治療費の助成(特定不妊・先進不妊) ・不育症治療費の助成 (5) デジタルを活用したこども子育て支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等に対するICT普及の推進 ・保活ワンストップシステムの推進 ・保育現況届のオンライン化 	<ul style="list-style-type: none"> (2) 地域が連携した子育て支援・地域教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関する情報提供の充実 ・子育てイベントの充実 ・こどもの居場所づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> (2) 地域が連携した子育て支援・地域教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部事業(あい風寺子屋教室)の推進 ・コミュニティ・スクールの推進
第5期市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てしやすい ●子どもの遊び場や子育て世帯への優遇措置、教育への投資が不足しており、魅力を感じられない ●自然が豊かで交通量も少なく、のびのびと子どもを育てられる保育園、幼稚園、学校、小児科、図書館などの子育て関連施設が身近に充実している ●妊娠・出産時のギフトカードや医療・給食費の補助など、市の経済的支援やサポートが手厚い ●皮膚科や夜間・休日の小児科などの医療機関が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育園の量・質ともに不足している ●学童の利用条件が厳しい ●支援センターの利便性も悪い ●子育て支援に関する事業や予算が少ない ●無料が少ない ●子どもの人数が少なく、濃密なサービスを提供できていない ●子育てのしやすさは親の働き方次第 ●子育て世帯への物資支援が行われている ●保育料が高く、保育人数の枠も少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども向けの施設が少ない ●公園やプール、児童館などの遊ぶ場所が多い ●全天候型の室内遊び場、大型遊具、ホールなどの子育てインフラが足りていない ●コロナ禍で減ってしまった子どものレクリエーションを復活してほしい ●全天候型の子どもが遊べる場所や施設を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育機関の質に対して不満がある ●札幌市に隣接しており、進学時の選択肢が広い ●高校、大学から石狩から必然的に出なければいけない環境にある ●学校の適正配置や教育環境に不安がある ●塾や習い事の教室が少ない ●学校で置き勉が許可されないため、小中学生の荷物が非常に重い
地産地活博	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てに関する制度や仕組みを充実させてほしい ●子どもがたくさんいてほしい ●子どもたちが自由に健やかに育ってほしい ●育てる親も安心、元気に暮らせると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ●安心して遊べる場所が増えてほしい ●色々な形の遊び場が増えてほしい ●様々な年齢の子どもと一緒に遊べる場所がほしい ●遊べる場所を増やしてほしい ●公園や遊具を大きくしてほしい ●冬でも遊べる場所がほしい 		
はたちのつどい	<ul style="list-style-type: none"> ●当事者として、またこれから当事者になるものとして子育てしやすいまちであってほしい ●子育てに力を入れている自治体は住み続ける理由になる ●子育てに関わる経済的な支援があると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの遊び場があると良い 		
第6期市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援を充実させることが、定住者の増加を生み出し、まちの経済が安定する 	<ul style="list-style-type: none"> ●大人も子どもも交流できる場を増やし、子育て支援を通じて人が集まるまちになってほしい 		
市内小中学校への意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援を充実させることで、少子高齢化や若者の流出を食い止め、まちの活性化につなげたい ●子育ての大変さをみんなで応援し、親も子どもも笑顔で幸せに暮らせるにぎやかな社会にしたい ●子どもの命を守り、安心・安全な環境で元気にすくすくと育ってほしい ●子どもや保育園がたくさんある環境がある ●少子高齢化という日本全体の課題に対し、石狩市から率先して対策していきたい ●少子高齢化が進んでいるからこそ、新しく生まれてきた子どもを大切にしてほしい ●少子化で人口が減っているため、子育て支援を充実させて子どもや人口を増やしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援をして子どもが育てば、人口が増え、活気あるにぎやかなまちになる ●少子高齢化が進んでおり、現在の大きな課題となっている ●子どもたちが不安なく、安心できる良い環境で元気にすくすくと成長してほしいから ●未来をつくる次世代の子どもたちが大切 ●応援したり、育てやすい環境にして親の負担を減らしたい ●子どもがすくすく育つよう応援することが、地域の良さにつながる ●石狩は子育てに力を入れているように見える ●子どもや子育て世代を支援する制度を作ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの意見を市に取り入れてほしい ●遊び場が減るなど、子育てがしにくくなっていると感じる ●冬でも遊べる公園や施設つくってほしい ●大きい公園や公園の遊具やアスレチックを増やしてほしい ●自由に遊べる娯楽施設や子どもが楽しめる遊び場をもっと増やしてほしい ●冬や雨・雪の日でも遊べる室内施設がほしい ●ボール遊びやスポーツをのびのびできる場所がほしい ●若者や子どもが室内・屋外で遊べる施設をもっと作ってほしい ●球技(ボール遊び)や様々なスポーツができる公園 ●体育館などを増やしてほしい ●公園の遊具を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなが勉強することで学力が向上し、中高生のマナーや雰囲気良くなる ●教育環境を良くしてほしい ●勉強ができる場所(図書館や自習スペースなど)を増やしてほしい ●学校の設備やルールを改善してほしい ●学力の向上を目指してほしい
石狩ミライゆる会議		<ul style="list-style-type: none"> ●子どもも大人も遊びを楽しめる石狩になってほしい。石狩からアーティスト誕生 ●子どもが安心できる場所、普段の生活では発見できないことを見つけれられる場所、人との関わりを学べる場所が shipple になれば! ●子どもにとってアートに小さいころから触れていると、何かしらの影響があると思っている ●子どもが絵を書いたりモノをつくったりするのが好きだが、札幌にあまり場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ●都会と田舎の子どもの交流。林間学校、山村留学など花川からきた子どもと厚田、浜益一緒に交流して遊べると良い ●都会と田舎の子どもも色々な場所にお互いに行く機会があるといい ●マルチスポーツは大事。子どもたちに色々な選択肢を与えたい 	
庁内研修 WS	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代が石狩に増えている ●補助金や制度が手厚くなり負担が減る ●概念の浸透により新たに健康課題を抱える親子が増える ●子どもの数が少なくなるため、手厚くサポートできる ●子ども医療手当など、さまざまな給付金が増えて生活しやすくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ●行政でサービスや施設を整備しても、交通面や人手不足から制度利用が難しい地域がでてくる ●気候変動で屋内遊戯場のニーズが高まる 		

目標3 「地域資源」からモノやしごとを創る

戦略目標のねらい：【いしかりならではの新たな産業、地域ブランドを創出する】 【新たな雇用を生み出す】 【地域経済を活性化し、地域内で循環させる】

凡例： 新たに検討した基本的方向（案）

	基本的方向（案）			
	地域の製品のさらなる魅力の向上	まちなぎわいを支える地域産業の育成	石狩湾新港を核とした次世代産業振興の促進	多様な主体が連携し、地域内で経済が循環する持続可能な産業基盤の構築
第3期総合戦略 施策項目と具体的な 施策・事業	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地場製品の知名度向上および新規創出 ・地場産品情報発信事業 ・販路拡大事業 ・PR事業（イベント開催） ・着地型観光推進事業 ・学校給食における「いしかりデー」の実施 ・食育推進事業 ・地域資源調査研究事業 ・地域資源活用イベント事業 ・食育推進事業 ・学校給食における地場製品の活用 ・いしかり食と農の未来づくり事業 ・食育推進事業 ・サケ、ニシン等種苗放流支援 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地場製品の知名度向上および新規創出 ・地域産業資源の創出 ・加工品の開発支援 ・農泊施設を活用した農山漁村交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> (3) 物流を核とした臨海部産業集積エリアの形成 ・港湾管理者や関係団体等と連携した内貿定期航路の誘致 ・石狩湾新港地域就業者のための通勤手段拡充に向けた検討 ・石狩湾新港地域の核となる複合施設の検討 ・災害時にも機能できる、物流基盤の強靱化に向けた検討 (4) エネルギー関連産業を核とした新たな産業空間の形成 ・海運を活用した洋上風力発電施設の供給・メンテナンス等の機能集積による産業拠点の形成 ・再生可能エネルギーを活用することによる地域経済の活性化 ・再生可能エネルギー電力を100%供給できるエリアの実現に向けた検討 ・AI、IoT等の先端技術を活用した先進的な産業の集積 ・再エネ由来水素を活用した水素製造や、水素関連産業の集積と水素活用の推進 ・再エネや水素を活用した、脱炭素型モビリティの導入に向けた検討 ・次世代通信技術の普及を見据えた先導的な産業振興 ・脱炭素に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> (2) 新しい雇用の創出、若者の職場定着支援 ・若者人材育成・職場定着支援事業 ・高校生の地元企業見学の推進 ・インターンシップの取組の推進
第5期市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ●地産地消の美味しい給食が提供されている ●未活用資源などのポテンシャルがある 	<ul style="list-style-type: none"> ●まちを明るくにぎわいのあるイメージにしてほしい ●お試し出店できるようなくみや支援制度がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●新港の開発への不安がある ●新港が発展することでの市民へのメリットや還元が感じられない 	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的な企業誘致による雇用創出や、移住促進で人口を増やし、まちを活性化してほしい
地産地活博	<ul style="list-style-type: none"> ●ブランドをつくって、活気づけたい ●今ある魅力を活かしたい ●石狩鍋のほかに、石狩の象徴となるものが増えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●人気のものが増えると、人も増える ●にぎやかにして、経済を活性化させたい ●稼いで、生活しやすいまちにしたい ●石狩らしい新しい産業をつくり、人を呼びたい 	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩湾新港が盛り上がりしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタートアップ支援に力を入れてほしい ●気軽に発電できるようになってほしい
はたちのつどい	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩の食べ物が好き ●石狩といえば〇〇となるくらい、石狩あるものをもっとアピールしてほしい ●給食で石狩の郷土料理が食べられるなど、美味しいものやその思いが広まると良い 		<ul style="list-style-type: none"> ●石狩湾新港地域をより活用してほしい 	
第6期市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源をブランド化し、だれもが誇りを持てるまちになってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域経済の安定と魅力的な仕事の創出が、まちの好循環につながる ●おしゃれなカフェやコワーキングスペースなどを増やし、小規模な起業や商売を支援してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩湾新港に海水浴場を設置したい ●石狩湾新港のポテンシャルを活かし、新しい産業や石狩モデルを創出してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●大型商業施設を誘致し、市内で消費が完結するようにしてほしい
市内小中学校への意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ●美味しい食べ物や素敵な名物をもっと増やして、楽しみたい ●美味しい食べ物や美しい景色など、石狩にすでにある魅力をみんなに知ってほしい ●自慢できるものを増やして石狩をPRし、もっと有名で人気のある地域にしたいから ●石狩には鍋や鮭、農産物など美味しい食べ物がたくさんあって好き ●石狩の美味しい食べ物や特産品をもっとアピールすれば、観光客や人が増えてまちがにぎわう 	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩の美味しいものをもっと増やしたり活かしたりして、たくさんの人に知ってほしい ●美味しいものがあれば、みんなが笑顔になって幸せに暮らせる ●自分たちのまちに自慢できるシンボルや仕事があれば、自信を持てる ●石狩のいいところを活かして、もっと魅力的なまちにしてほしい ●自慢の石狩鍋など、おいしい食べ物がある ●美味しい食べ物を増やしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●おいしいものを増やして、人がたくさん来るまちにしたい ●魅力的なお店やイベント、新しい仕事を作って、観光客や移住者を増やし活気あるまちにしたい ●将来に向けて色々な仕事やお店が増え、みんなが良い生活を送れるようにしたい・新しい仕事や働く場所ができれば、将来の就職の選択肢が増えて良い ●観光客が増えることでお金が入り、経済が回ってまちが豊かに発展する ●人口を増やして、活気のあるにぎやかなまちにしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●風力発電の電気を街に還元してほしい
石狩ミライゆる会議				
庁内研修WS	<ul style="list-style-type: none"> ●気候の変化により、特産物も変化する ●鮭が減り、価格が上がった ●鮭の漁獲量が減ってきているため、鮭に頼る産業振興が難しくなる可能性がある ●RSRのチケットが返礼品になるなど、ふるさと納税の返礼品のバリエーションが増えた 	<ul style="list-style-type: none"> ●空き店舗や空き家が増え、まちなぎわいが低下する ●「便利」を抑制し、「不便」な部分も残すという考え方も必要 ●道の駅の駐車場が足りなくなる ●現状共存が難しい機能がうまく融合されていく ●コストコができて買い物しやすくなった ●お店が閉店したり、営業時間が短くなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートシティ化、DX化すすむ ●自動運転が普及しているが、車依存のまちから抜けられない ●データセンターがさらに集積する ●人口は減り、雇用が増えることも働き手が余ることも両方考えられる ●GXまちづくりが加速する一方で、人がつかえる場所が減る ●データセンターがテロなどのターゲットとなるリスクがある ●再エネが増え、石狩市が注目されるようになった ●ゼロカーボンの取組など、市外から注目をあびる話題が増えた ●新港地域に多様な業種の企業の進出が増え、発展している 	

目標4 「いろんな顔」をつくる

戦略目標のねらい：【自慢できるいしかりの魅力を育てる】 【観光や移住など新たな人の動きをつくる】 【まちの様々な魅力を高め、賑わいをつくる】

凡例： **新たに検討した基本的方向（案）**

	基本的方向（案）		
	観光資源の魅力を高め、石狩のファンの拡大	地域が培ってきた固有の歴史文化やなりわいを活かした交流・関係人口の創出	石狩で暮らし、働きたくなる環境の整備
第3期総合戦略 施策項目と具体的な 施策・事業	<ul style="list-style-type: none"> (2) 中山間・過疎地域における多機能・複合型交流拠点の形成 ・インバウンド観光推進事業 ・地域の魅力発信事業 ・着地型観光推進事業 ・市内観光ツアーの推進 (3) 地域の魅力や可能性を活かした賑わいづくり ・学校図書館等充実事業 ・市民図書館を拠点とする賑わいの場づくり（図書館まつり、科学の祭典等） ・社会教育課との連携事業推進による図書館の魅力発信 ・こども司書養成事業 ・市民図書館レファレンス（調査）サービスの推進 (4) 観光産業におけるDX推進 ・デジタルマップの活用 ・デジタルを活用した情報発信の推進 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 観光資源を活かした交流人口の誘導 ・海辺の魅力創造推進事業 ・サイクリング推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤から移動 (4) 幅広い人材登用による地域活力の創出 ・新規就業者支援助成 ・新規就農者育成総合対策事業 ・関係機関と連携した移住相談会の実施 ・移住希望相談者に対するワンストップサービスの強化 ・移住支援事業 ・外国人の住環境整備促進 ・お試し移住の実施 ・地域おこし協力隊活動事業 ・集落支援員活動事業 ⑤から移動 (7) 移住・定住の推進 ・移住希望相談者に対するワンストップサービスの強化 ・関係機関と連携した移住相談会の実施 ・日本版CCRC構想を含めた地域包括ケアシステムの検討と構築 ・空家活用促進 ・お試し移住の実施
第5期市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ●これといった魅力がなく、魅力発信も少ない ●スポーツや音楽、食のイベントを積極的に開催し、まちの活気や住民の楽しみを増やしてほしい ●地域の歴史や特産品を活かしたご当地グルメや観光マップを作り、魅力を効果的に発信してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩のお祭りがイマイチで、魅力を感じない 	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩に持ち家や土地、家族の拠点がある ●土地が安い ●商業的なインフラが整っていない ●スーパーなどの店舗や娯楽施設など生活利便施設が少ない ●家賃が安い ●大型商業施設や魅力的な店舗などを誘致し、便利で日常的に楽しめる場所を作ってほしい ●経済的支援の強化や交通アクセス改善など、若者や子育て世代が定住したい環境整備してほしい
地産地活博	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩の魅力を伝えるイベントを増やしたい ●石狩の良いところをもっと知ってほしい ●観光するのが好き 	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩の中心となる人や場所がない ●まちにイベントがあると楽しい 	<ul style="list-style-type: none"> ●娯楽施設がほしい ●夜、楽しめる場所がほしい ●色々な買い物に便利な場所がほしい ●スタバがほしい
はたちのつどい	<ul style="list-style-type: none"> ●発信に力を入れて、石狩を知ってもらうことがまず大事 ●石狩を象徴するイベントやもので石狩の知名度をあげられると良い ●石狩は田舎だからこそその魅力があり、それを知ってもらえると良い 		<ul style="list-style-type: none"> ●観光地きっかけに住みたいと思う人を増やすことが大切
第6期市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩の見どころや特徴を見つけたい ●豊かな自然や広大な土地を活かした独自の大型イベントでまちを盛り上げてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●過疎先進地の自然や歴史の価値を読み解き、地域の実情に応じた柔軟なまちづくりと交流を進めてほしい 	
市内小中学校への意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩の良さや魅力をたくさんの人に知ってもらい、にぎわいのある有名なまちにしたい ●もともとある綺麗な景色や自然を活かして、もっと素敵なまちにしたいから ●魅力的なイベントや景色を増やして、他のまちから人が引っ越してくるようなまちにしたい ●イベントや景色をもっと楽しみたい ●楽しいイベントに参加し笑顔になりたい ●特徴や魅力がないと、誰からも好かれず悲しい ●石狩の魅力やいいところをもっとたくさんの人に知ってもらい、有名な観光地にした ●石狩の豊かな自然や文化きれいな景色な ●札幌からのアクセスを活かして、もっと全国や道外の人にも石狩を知ってほしい ●たくさんの人に知ってもらい、人が集まって活気あるにぎやかなまちになってほしい ●今は観光する場所や魅力が目立っていないため、もっと磨き上げてほしい ●石狩の知名度を上げて人を呼び込み、人口減少や少子高齢化・過疎化などの問題を解決したい ●まだ石狩のことを知らない人が多い ●自分の住むまちを有名にして、他の地域の人や友達に自慢したい ●自分のまちが有名になったり、たくさんの方が来てくれたりするとうれしい ●観光スポットを増やし、たくさんの方が来る有名な都市になってほしい ●石狩をもっと有名にし、活気があって栄える観光都市や都会になってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●お祭りや楽しいイベントをたくさん開催して、まちを盛り上げてほしい ●お祭りやイベントをもっとたくさん開催して、盛り上げてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●遊ぶ場所や運動できる施設をつくってほしい ●友達と遊べる場所がないので、イオンモールなどを作ってほしい ●家の近くで買い物や完結するよう、イオンやスーパーなど大型の商業施設を作ってほしい ●マックやびっくりドンキーなど、外食できる飲食店を増やしてほしい ●色々な種類のお店を家の近くに増やして便利で楽しくしてほしい ●ショッピングモールやコストコなど、大きなお店や色々なお店を増やしてほしい ●飲食店、カフェ、スイーツ店など、美味しい食べ物のお店を増やしてほしい
石狩ミライゆる会議	<ul style="list-style-type: none"> ●PRをたくさんして観光も盛り上がったらいいなと思いました ●50年後もライジングが残り続け、厚田・浜益を含め地域の魅力が広まっているミライ ●船（帆船）に乗れたらと、観光客も来る、ローブウェイも良い・RSRで牛肉提供できるのではないかと。出展ブース募集してる。BBQで肉提供。北大ワインと抱き合わせると良い。北海道民はめっちゃBBQする 	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩のミライ構想に厚浜交流人口増を ●厚田、浜益への誘引者増。石狩に関わる人が増えてほしい ●石狩内の2拠点生活がスタンダードになると面白い ●本町エリアで家族・仲間と体験宿泊になってほしい・非日常でのんびりしようよをテーマに石狩に泊まれるというまちづくりを本町で行う ●人がたくさん来てコミュニケーション取れるのは良い・体験を共有して仲間にするオンラインMTG・関係人口がポイント ●本町エリアの価値をわかってもらう機会をつくれるか。小学校の跡地をRVパークにしている場所が本町エリアにあるのでイベントするとか、取材に来てほしい ●石狩の渡船場の活用をしたい。知らない方も多い、活用されていないもったいない 	<ul style="list-style-type: none"> ●移住者が素敵に暮らすエリアにしていけると良い ●石山軟石の石蔵の活用をして、アーティストさん移住させる ●アーティスト・イン・レジデンスの場として使ってもらえるように検討中
庁内研修WS	<ul style="list-style-type: none"> ●キャンプ場が整備される ●冬の石狩浜が外国人観光客に人気が出る ●コストコや道の駅など、外の人を呼べる施設ができた ●道の駅が開業し、入込客数もコロナ前に戻ってきている ●ホテルが2棟も建設・開業された ●キャンプ場が使いやすくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと納税により関係人口が増える ●市内に大学が無くなり、交流人口が減る 	<ul style="list-style-type: none"> ●空き店舗や空き家が増え、まちのにぎわいが低下する（再掲） ●樽川、緑苑台に戸建て住宅が増えた ●新しい宅地に住宅が増え、若い世代が増えた ●宅地造成が進み、転入、転居してくる人が増えた ●エアコンなしでは生活できないくらい温暖化が進んだ

目標5 誇りとなる「人や文化」を育てる

戦略目標のねらい：【市民の学びや楽しみの輪を広げ、いしかりの新しい文化を醸成する】

【まちが人を育て、人がまちの誇りになる循環の仕組みをつくる】

【国際感覚豊かな人材を育てる】

凡例： **新たに検討した基本的方向（案）**

		基本的方向（案）	
		石狩らしい豊かな風土や文化の継承と育成	生涯にわたる学びと実践の場を通じた、まちへの愛着とシビックプライドの育成
第3期総合戦略 施策項目と具体的な 施策・事業	<p>(5) 豊かな自然、多様な生物、人が共生するまちの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全に関する事業 ・グリーンインフラの推進 ・環境教育の推進 ・石狩浜海浜植物等保護地区などの保護区拡大 <p>(6) 歴史文化の醸成による観光産業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サケの文化発信」事業 ・石狩市三大秋祭り ・日本遺産などの活用 	<p>(1) 学びの機会と輪を広げる取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしかり市民カレッジの企画・運営支援 ・高齢者を対象とした学習と交流の場（はまなす学園等）の実施 ・各種講座（いしかり市民カレッジ、まちづくり出前講座等）の開催支援 ・食育推進事業 ・文化振興事業（Kitara ファースト・コンサート） ・学生ボランティアによる放課後学習事業の実施 ・姉妹都市高校生交換留学生事業 ・少年少女親善訪問団派遣・受入事業 <p>(2) スポーツ・健康のまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレッキング事業 ・サイクリング推進事業 ・ウォーキングイベントの実施 ・カローリングの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・モルックの実施 ・健康づくり事業 ・スポーツツーリズムの推進 （3）競技スポーツの推進とアスリートの育成 ・ソフトボール強化（アスリート育成）事業 ・大会や合宿の誘致 （8）デジタルを活用した教育、人材育成の推進 ・学校のネットワークにおける推奨帯域の確保 ・児童生徒用端末の着実な更新 ・学習用ソフトの積極的活用 ・校務DXの推進 ・市職員育成、研修の推進 ・デジタル人材の育成 ・民間との合同研修の検討
第5期市民意識調査		<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさととして地元への愛着がある ●文化施設が充実していない ●本格的な音楽ホールを整備してほしい ●時代に合った市民講座を開催してほしい 	
地産地活博		<ul style="list-style-type: none"> ●自分が住んでいるまちを誇れることは大切 ●石狩にまた戻ることができるまちにしたい ●石狩で頑張っている子を応援できる環境があると良い ●色々なことに挑戦できるまちが良い ●好きなことに一生懸命取り組める環境があると良い ●石狩から有名な人が輩出されれば、まちも有名になる 	
はたちのつどい	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史が好き ●石狩の地域活動やお祭りが良い ●石狩ならではのイベントがあると楽しそう 	<ul style="list-style-type: none"> ●人とつながれるような集まりがあると良い ●文化的なことが好きな人たちが集まれる場があると良い ●石狩をもっと魅力的にしていきたい ●若者のチャレンジを後押しして、若者が活躍できるまちになってほしい ●地域のつながりの強さを伝えていくことが大切 	
第6期市民意識調査	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩ならではの歴史文化や自然などの資源を再評価し、発信していくことで地域愛につながる ●地域への誇りや伝統文化の継承が、まちづくりの基本であり、生きる知恵となる 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に愛着が湧かない 	
市内小中学校への意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> ●冬の雪を活かしたスポーツをしたい ●石狩のスポーツ文化やスポーツ祭りを盛り上げ、選手を応援したい 	<ul style="list-style-type: none"> ●自慢できるものが増えると、嬉しくて喜べるまちになる ●スポーツや勉強などに挑戦することが自分やまちにとって大切だと思う ●勉強やスポーツをすることは、頭や体を鍛えることになり、将来や役立つ ●スポーツや勉強が好きで、もっとやりたい ●チャレンジできるまちになれば人が集まり、まちをもっと好きになって自慢できるようになる ●みんながスポーツや勉強をして、健康で元気で明るいまちにしたいから ●スポーツや色々なことにチャレンジできるまちになれば、もっと楽しくなりそうだから 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツや運動が大好きで、もっと気軽に楽しみたい ●スポーツや勉強ができる場所や機会が少ないため、もっと環境を整えてほしい ●スポーツや勉強を両立させることで、健康維持や体力がつく ●スポーツや勉強など、いろいろなことに挑戦してみたい ●色々なことにチャレンジできる環境は、人間の成長にとって大切・いろいろなことにチャレンジすることが、将来の夢や希望を見つけることにつながる ●好きなことやチャレンジができると、毎日が楽しくなり活気が出るから ●市民が石狩というまちに誇りや愛着を持ち、もっと好きになってほしい
石狩ミライゆる会議	<ul style="list-style-type: none"> ●アートを活かしたまちおこし ●浜益や厚田の自然をテーマにした芸術祭も開催 ●厚浜アートフェスを！ ●アートが身近にあり、アーティストが育つ ●限界集落のアート祭はどうか。そこにしかない風景がアーティストのインスピレーションを刺激する ●「石狩×アート」でまちの中に新しい風景をつくる ●フェスティバルは打ち上げ花火になりがち。暮らした中や教育の中でアートを活用していくことが良い ●昔あるにあったもの、未来にあったらいいなをアート、アーティストで復刻するのはできそう ●校歌を子どもたちと作る。そのイメージ映像を作る。風景をつくる ●まちの歴史を大事にする ●まちの個性をストーリーとして語れるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の価値観が定まるのが20歳前後。この時の体験は10～20年は残るので、そこで石狩で色々体験させたい 	
庁内研修WS	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツや手話など地域ブランドの普及が進んでいる ●石狩らしい自然豊かな資源がなくなるかもしれないので大切にしてい ●ローカルであることの豊かさ・価値をブランディングし、PRしていく ●人口減少すると、むしろコミュニティの関わりは強くなると思う ●鮭の遡上が見られなくなった ●動物の被害が増えている ●外国人アパートが増え、マナーなど価値観の違いが気になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●未来志向で考えられる人材が育つ ●石狩での経験が愛着につながる ●全国初の手話条例の制定により、手話が普及し石狩の名が有名になった 	

目標6 時代にあった地域として持続する

戦略目標のねらい：【新規】

凡例： 新たに検討した基本的方向（案）

	基本的方向（案）					
	デジタル技術の利便性と、人と人のつながりが調和する市民サービスの提供	都市機能と自然豊かな環境の相互補完による、新たな地域価値の創造	強靱で安全・安心な防災・減災まちづくりの推進	持続可能な生活基盤を支える、次世代を見据えた地域公共交通の確保	人口減少社会を見据えた、広域連携や公民連携による持続可能な行政経営の推進	
第3期総合戦略 施策項目と具体的な施策・事業	(1) ICTを有効活用する新たな行政サービスの構築 ・オンライン手続の拡大 ・公開型GISにおける公開情報の拡充 ・庁内各種業務システムの効率化	(4) 近隣自治体との連携強化の推進 ・3市区連携プロモーション事業（札幌市手稲区・小樽市・石狩市連携事業） ・さっぽろ連携中枢都市圏事業 ・広域のデジタル人材育成、確保に係る取組	(7) 防災・減災、国土強靱化の取組の推進 ・地域情報配信アプリの利用促進 ・防災対策事業 ・情報発信の充実 ・GIS機能を活用した防災マップの提供	(2) 時代・地域に即した交通体制の推進 ・浜益厚田間乗合自動車運行事業 ・スクールバス混乗事業 ・公共交通空白地有償運送 ・浜益滝川間乗合自動車運行事業 ・AIデマンド交通の実証運行 ・市内における新たな交通手段の導入検討	(3) 行政事務の広域連携の推進 ・さっぽろ連携中枢都市圏における公共施設及びインフラ資産に係る共同利用の可能性調査、検討 ・施設の共同利用及び事務共通化により行政の効率化に取り組む (5) 遊休公共財産の有効活用の検討 ・公共施設等総合管理計画に基づく公共施設等の在り方の検討 ・廃止となった施設や市有地の民間等による有効活用 ・市有地等の活用による地域振興拠点の形成 ※散らばせる必要あり (6) 将来にわたって暮らしやすいまちづくりの推進 ・協働事業、後援・共催事業の推進 ・市民参加手続デジタル化による情報配信の推進 ・事業者・大学との包括連携協定に基づく共同事業の推進 ・企業版ふるさと納税の推進 ・ふるさと納税の推進	
第5期市民意識調査	●DXによる行政・町内自治の効率化を図ってほしい	●都会すぎず静かで、質の高い豊かな自然がある ●自然が破壊されていることが気になり ●風力発電による低周波音や景観乗損が気になる・環境破壊が気になる ●ゴミのポイ捨てやペットの糞など道端にゴミが多い ●再生可能エネルギー開発による景観破壊などに不安がある ●自然環境や景観に配慮した持続可能なまちづくりを進めてほしい	●騒音問題など治安が悪い ●治安が悪い ●信号機が少なく道路も暗いため、安全対策が心配 ●熊の出没に対する不安を抱えている ●繁華街がないため治安が良い ●警察署がなく、夜間のバイクや歩きタバコをする子どもがおり、しつけやマナーが悪い印象がある ●子どもたちの歩行環境が整っていない ●子どもや高齢者が安全に歩けるインフラを整備してほしい ●防犯カメラ、ゴミの不法投棄対策など、治安と生活環境の安全を守る対策を強化してほしい ●警察署や交番を設置してほしい	●公共交通機関が不便 ●交通費が高い ●通勤通学への公共交通機関の利便性が悪い ●通院への公共交通機関の利便性が悪い ●買い物への公共交通機関の利便性が悪い ●公共交通機関の利便性が悪いため、車が運転できなくなると住み続けることが難しい ●終電が早かったり、減便が続いているため住み続けることが難しい ●地域性から車が必須となり住み続けることが難しい ●バス路線の減便や料金の高さなど公共交通機関が不便・車が運転できない際の移動手段が限られ生活しづらい ●駐車場がなく不便 ●地下鉄の延伸やJR、高速道路などの広域・軌道系交通インフラを整えてほしい ●道路の修繕整備に不満がある	●札幌へのアクセスの良さと生活の利便性が高い ●バス路線の減便や車必須の環境により、通学の不便さが子育ての障壁になっている ●公共交通機関の利便性や高齢者の移動手段に大きな不安がある ●ロープウェイ構想はどうなったか知りたい ●地下鉄・モノレール・高速道路など、広域アクセスのための軌道系交通インフラを整備してほしい ●バスの増便や自動運転、深夜便やデマンド便の使い勝手改善など、バスの利便性を向上してほしい ●ロープウェイ等、新交通システムの計画を見直してほしい ●交通アクセスの悪さから生じるまちの衰退感を払拭し、人が集まる交通拠点づくりを進めてほしい	●市役所の対応が良い ●市の高齢化が進むと現役世代への負担が心配 ●市政に対してごく少数の市民意見で行っているようにみえる ●行政サービスに不満がある ●過疎化対策への積極的な姿勢が見受けられない ●市民に寄り添っていない市政や市議会に対する不信感がある ●地域によって格差がある ●今回の総合計画改定で、若者の意見を積極的に聞く姿勢が良い ●アンケート調査で市民の意見を聞くのは良い ●市役所の姿勢や市民へのアプローチ手法に疑問がある・職員の意識改革をして、市民に寄り添う市政を行ってほしい
地産地活博	●デジタル技術などを使って、まちの課題を解決したい	●ゴミのない、きれいなまちが良い ●豊かな自然を守ってほしい	●災害に強いまちにしてほしい ●事故や怪我のない、安全安心に暮らせるまちがいい ●安全運転をしてほしい	●交通の利便性をもっと高めてほしい ●交通の利便性を上げてほしい		
はたちのつどい	●デジタルを活用して、便利に生活できると良い ●高齢者のためのデジタルサービスが必要		●雪が多い地域だからこそその対策が大切になる	●鉄道があると良い ●石狩から他地域へのアクセスの良さをさらに強化していると良い ●公共交通の利便性が上がると人が集まったり、住み続けられるまちになる ●歩行者目線の交通のあり方を考えてほしい		
第6期市民意識調査	●自動運転やロボットなどの最先端技術を導入し、人員に頼らない持続可能なまちになってほしい	●まちなかだけでなく、周辺地域へ平等に見守ってほしい		●公共交通の路線について不満がある ●地下鉄やJRなどの軌道系交通網を整備し、天候に左右されない便利なインフラを確立してほしい	●人口減少や高齢化を見据え、生活基盤・インフラの維持と近隣市町村との連携が不可欠 ●一律の施策ではなく、過疎地域など各地域の実情に応じた柔軟な対応や施策が必要 ●高齢化や利便性の低さなどの課題解決のため、札幌市との合併や吸収を目指してほしい ●独りよがりな政策にならないよう配慮してほしい	

<p>市内小中学校への意見聴取</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●まちをきれいにしたい ●緑や自然、海や川が豊かできれい ●豊かな自然を大切に、自然と共存できるまちにしたい ●自然や生態系を大切に、海や川などの環境維持をしてほしい ●ゴミのポイ捨てをなくし、まちの環境をきれいにしたい ●ゴミのポイ捨てをなくし、街の環境をきれいに保ってほしい ●今の田舎の良さや自然を大切にしておきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ●事故や事件、災害などから命を守り、安全に過ごしたい ●子どもからお年寄りまで、みんなの安心安全が一番大切 ●みんなが安心して暮らしやすい、暮らしやまちが一番良い ●安心・安全なまちで、みんなで楽しく笑顔で幸せに暮らしたい ●安心安全で暮らしやすいまちになれば、人が集まり人口が増えると思う ●戦争や争いがなく、平和で落ち着いたまちにしたいから ●安心・安全が大切で、暮らしやすいまちにしたい ●みんなが安心して暮らしやすい、住みやすいまちが一番いい ●安心・安全であることで、みんながのびのびと楽しく、幸せに暮らせる ●交通事故などの危険を減らし、みんなが安全に過ごせるようにしてほしい ●安心・安全な暮らしは、他の目標を達成するためやまちが発展するためのすべての基本だと思う ●命が一番大切であり、怪我なく安全に長生きしたい ●安全で暮らしやすいまちにしないと人が離れてしまうし、逆に暮らしやすければ人が集まる ●バイクの騒音やポイ捨てなどのマナー違反をなくし、治安や環境を良くしてほしいから ●事件や犯罪などをなくし、安心して暮らせる治安の良いまちにほしい ●不審者情報が多くて怖いので、安心して過ごせるようにしてほしいから ●不安や恐怖、悲しい思いをせずに、毎日を危険なく心穏やかに暮らしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもからお年寄りまで、すべての世代が安心して暮らせることが大切 ●雪による危険や除雪の問題を解決し、冬でも安全に歩けるようにしてほしい ●自然災害などが起きた時でも、安心・安全に避難できるまちにしたい ●熊などの危険な動物が出没する不安をなくしてほしい ●熊が人を襲わないように対策をしてほしい ●平和で治安の良い安心安全なまちになってほしい ●事故が起きないように横断歩道や信号機を多くして安全にほしい ●バイクの騒音などがなく、安全で過ごしやすいまちにほしい ●通学路や歩道、道路の雪を除雪して歩きやすくしてほしい ●雪山をなくして、車や歩行者の見通しを良くしてほしい ●除雪を早く、きちんとしてほしい ●道路のガタガタを直して、安全にほしい ●雪対策（除雪の回数増加や丁寧な除雪など）をしっかり行い、冬の道を通行しやすくしてほしい ●大雪の時などは、無理せず休校措置をとってほしい ●治安を良くして、ヤンキーや不審者、迷惑行為などのトラブルをなくしてほしい ●街灯を増やして夜道を明るくし、安全に歩けるようにしてほしい ●除雪の回数を増やし、早く丁寧に対応して冬の道を通りやすくしてほしい ●歩道や道路を整備し、安全で通りやすくしてほしい ●信号機をつけて交通事故を減らしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通が不便でやりたいことができない環境を変えたい ●車がなくても移動しやすいように電車や地下などの新しい交通機関をつくってほしい ●バスの便を増やして、利便性をあげてほしい ●バスや地下鉄、駅などの交通機関を増やして、便利で移動しやすくしてほしい ●地下鉄や電車などの鉄道路線、駅を作してほしい ●バスの本数や路線、バス停を増やして利便性を高めてほしい ●交通機関（バス・電車等）全体を発達させ、移動・交通の便を良くしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の声が届きやすい街になってほしい
<p>石狩ミライゆる会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル技術を住民生活にどう落とし込むか ●デジタル化によって失われるモノがある。例えば、デジタル回覧板は見守り機能がなくなるなど、不便であることでコミュニティが成り立つこともある 	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩の2つの最先端をどちらも活かしたい ●2つの最先端で面白いこと生まれる。地域特性を活かした総合計画にしていきたい 		<ul style="list-style-type: none"> ●デマンドバス、予約して乗れる 		
<p>庁内研修 WS</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●AI活用で行政サービスが効率化、高品質化する ●ICT技術活用で市民が平等にサービスを受けられる ●AIを頼りすぎないマインドも大切にしていこう ●オンライン手続きやペーパーレス化によって手続きが楽になった ●システム統一、AI活用により、業務の効率化が進んだ ●チラシなど情報の電子化、オンラインでのやりとりが増え、効率的になった ●ナチュラルビズスタイルの導入によって働きやすくなった ●職員の初任給が上がっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口が減少して自治体が合併する ●学校の統廃合やクラスの減少が進んでいる（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設が減るので避難場所が減る ●医療機関が減少している ●胆振東部地震による被害で市役所の脆弱性が明らかになった 	<ul style="list-style-type: none"> ●バスの統廃合などにより、交通利便性が悪くなり、交流の場があっても行けない人がでてくる ●花川通の延伸工事が進み、交通アクセスが良くなる ●バスの本数が減り、車がない人が困っている ●特に厚田と浜益の路線でバスがなくなり、公共交通が不便になってきている 		